

平成25年度

『福岡新技術・新工法ライブラリー技術展示会』

本庁支部 (公財) 福岡県建設技術情報センター 緒方奈月

1. はじめに

平成25年11月26日・27日、当センターにおいて『福岡新技術・新工法ライブラリー技術展示会』を開催しました。2日目は福建技術研修会と同時に開催したことで、行政職の参加者が延び、合計で200名の方にご来場いただきました。今年度で6回目の開催となる技術展示会ですが、来場者数は年々増加傾向にあり盛会のうちに無事終了することができました。

そもそも「新技術・新工法ライブラリー」とは何なのか、ご存知の方も多数いらっしゃると思いますが、本題に入る前に簡単にご説明します。

「新技術・新工法ライブラリー」は愛称で、正式名称は「新技術・新工法活用促進制度」といいます。この制度は、県内の企業等が開発した新技術・新工法を積極的に活用することで、コスト縮減や環境負荷低減等といった課題に対応するとともに、県内の企業等の開発意欲の向上や育成を図ることを目的に創設されたもので、県土整備部事業（道路、河川、ダム、港湾、海岸、砂防、地すべり、急傾斜地等）において活用可能な新技術等の情報を収集しインターネット上に掲載していることから、ライブラリー（図書館）という表現になっています。

下のURLより検索、閲覧ができますので覗いてみてください。

URL <http://f-newtec.jpn.org/>

この新技術・新工法ライブラリーに登録されている新技術等を広く一般に紹介する場として設けられたものが『福岡新技術・新工法ライブラリー技術展示会』となります。

2. 展示会の様子

本展示会では、全部で3部門のコーナーを設けました。

(1) 展示会部門

新技術・新工法ライブラリー登録者のうち出展の申込みがあった企業等によるパネル展示やカタログの設置等を行いました。今年度は初の試みとして展示ブースをワンフロアに集約し、土木分野別に配置することで来場者が見学しやすい環境を整えました。見やすくなったという意見を多数いただき、事務局側としてはほっとしております。

写真1：展示会会場の風景



表2：出展者数

屋外出展数	(常設展示のみ 3社)
屋内出展数	25社
展示ブース数	28ブース

表1：来場者数

	参加者		
	11月26日	11月27日	合計
行政(団体)	44	79	123
大学関係	0	5	5
コンサル関係	2	4	6
建設業関係	35	31	66
その他	0	0	0
合計	81	119	200

(2) 講習会部門

昨年度（平成24年度）、基準適合情報に登録された新技術等について、登録者より設計方法、施工方法、施工管理方法等について詳細な説明を行っていただきました。

（平成24年度に新規登録された8工法のうち7工法を紹介）

基準適合情報に登録されている新技術等は、現在24工法あり、従来技術等に比べ①コスト削減 ②安全性向上 ③施工性向上 ④品質向上 ⑤環境保全のいずれかにおいて、特に優れていることが実験等で証明できるもののみが登録可能となっています。

また、設計業務委託にて工法検討を行う際には、必ず比較検討対象に加えることとなっていますので聞いて損はないと思います。実際知っておけば工期短縮が図れたであろう工法の知識を得ることができ、大変勉強になりました。

写真2：講習会会場の風景



(3) プレゼン部門

登録した新技術等について、出展者による5分間のPRタイムを設けました。こちらの部門は今年度初の取組みで、どうなるものかと不安でしたが、案の定、事務局側のPR不足なのか、集客はいまいちの結果に終わってしまいました。

プレゼン部門は展示ブースを見学する前段階として、出展されている新技術等の概要を把握するのにちょうど良い場だと思っておりますので、事務局側の立場から、来年度こそは成功できたらいいなと思っております。

写真3：プレゼン会場の風景

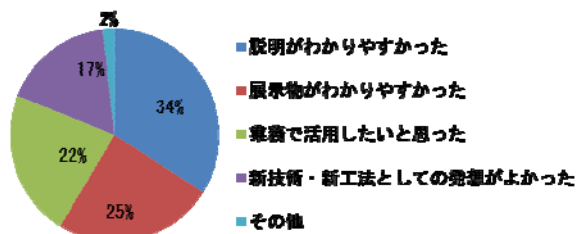


3. 表彰

来場者の方々から、よかった展示ブースについて投票及び評価をしていただき、その結果を基に上位3社について表彰を行いました。結果は以下のとおりです。



右図は来場者が特によかったブースについて評価した内容になります。集計の結果、展示ブースでのわかりやすい説明が投票につながっているようです。



4. 最後に（事務局より）

出展者・来場者の皆様に満足いただけるよう更なる改善に努めて参りますので、来年度の展示会へのご参加を心よりお待ちしております。